

令和6年度 岐阜市立芥見小学校 経営構想

【児童・地域の実態】

- ・明るく元気に外で遊ぶなど、好きなことに一生懸命取り組む子どもが多い。
- ・「思いやり」への意識が児童の中に高まり、学校全体の落ち着きはでてきた。
- ・子どもの幸せを願い、学校の教育活動に協力的である。
- ・高学年になると、自己肯定感の高い児童が増えてきている。
- ・支援が必要な児童へは、外部機関との連携をしながら、その子なりの成長を職員全員で見届けている。

【学校の教育課題】

自らの願いに向かって
自信をもってやりぬく子の育成

- 他者への思いやり、共に生きる人間関係
 - ・他者を大切にする豊かな心、と同時に自分自身を大切にする児童の育成
- 自己肯定感、自信と誇りの醸成
 - ・卒業後の糧となる「できる」という充実感、自分自身、学校・地域の誇りにつながる活動の積み上げ
- 確かな学力の定着→自ら学ぶ姿勢
 - ・将来に生きて働く基礎的・基本的な内容の確実な習得と思考、判断、表現を通してそれらを活用する力

【市の方針と重点】

- ・学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進する。
- ～第4期教育振興基本計画～
- 1 一人ひとりのよさが輝き、互いに認め合う心を育む教育
- 2 主体的かつ協働的な学びを通じて未来の礎となる力を育てる教育
- 3 その子らしさを生かし、可能性を伸ばす教育
- 4 このまちと人から「生きる」を学び、社会参画する力を培う教育
- 5 子どもに深く向き合う、あたたかさで働き甲斐にあふれる学校づくり
- 6 新しい時代の学びにつながる、教育システムの整備
- 7 子どもも大人も共に学び支え合う、家庭・地域の教育力の向上

豊かな心で たくましく 生きぬく子

かしこく

受け身から主体へ！
与えずがない

- ・自己肯定感につながる「できそう・わかった」の授業の実践
- ・学びたいと意欲を持つことができる指導の研究
- ・反復学習の継続のよりよい指導の研究
- ・家庭とつながる意図的な家庭学習の設定（スタサプ等）
- ・学校の教育活動の戦略的な公開・広報（学校運営協議会）

教育目標を実現するために
課題の解決を
子どもたちと一緒に考える

たくましく

自分の限界を自分で決めさせない！
一方、弱さへの歩み寄り

- ・弱さへの歩み寄り
- ・たくましい心と体づくり
- ・一生懸命やることのよさを感じる学級活動達成感、充実感を味わわせる指導

やさしく

児童が主体となる活動
「思いやりの木」を育てる

- ・4つの自慢を柱にする児童会・学級での取組
- ・人権の尊重を基盤にした、いじめ防止の実践
- ・教育相談、学級活動・道徳教育の充実・児童会を中心とした自主的活動

私たち職員は、大人の代表です。 子どもがあこがれる存在になろう！

まずは、
その基盤として

元気に挨拶をしましょう。職員室の気をきれいに保つ！
机の上は整理整頓！
困ったことがあったら大きな声で叫んでみる。
大きな声で言えなければ、隣の先生に愚痴ってみる。
困っている職員に気づいたら、手を差し伸べる。
子どもたちのことを悪く言わない！

子どもたちと教職員の笑顔があふれる 学校に

学校の教育資源

【地域の小・中、幼保、各機関との連携】 幼保・小・中学校や各機関との密接な連携	【家庭との連携】 子育てに頑張る保護者との連携	【地域との連携】 地域人材、諸機関との協働と有効な活用
【コミュニティ・スクール】 芥見小学校運営協議会・学校支援推進委員会 地域・社会貢献ができる人材、社会形成能力の育成を視点に、地域と学校の協働の在り方を模索しつつ、学校機能を有効に果たす		
【学校評価の活用】 保護者評価、CS評価、自校評価を次年度に生かす。HPにて公開。		